



主催 乙訓の文化遺産を守る会

第45回 歴史文化教室 『伏見の戦争遺跡フィールドワーク』



旧第十六師団本部

戦争遺跡とは、戦争による痕跡や遺物などをいい、近代の文化遺産でもあります。京都伏見には、かつて日露戦争時に編成された京都師団（第十六師団）があり、今も師団街道、第一軍道、師団橋といった地名が残り、戦争遺跡も点在しています。今回「兵器支廠跡」「騎兵二十聯隊址」「陸軍病院址」「京都歩兵聯隊址」「藤森神社の奉納額」など、それに明治41年建設で現在学校法人聖母女学院本部となっている煉瓦造りが端正な旧「第十六師団本部」を巡ります。京阪深草駅から京阪墨染駅までを、地元で戦争遺跡のフィールドワークをされている高校教諭本山雅章氏の説明で散策します。多数ご参加下さい。

日 時	6月5日（日）13時（小雨決行）
集合場所	京阪電鉄 深草駅 改札前
講 師	高校教諭 本山雅章 氏
費 用	資料 300円（会員 無料）

- 申込 ① 「乙訓の文化遺産を守る会」のホームページ（<http://otubun.org>）からメールをお送りください
② お電話（075 933 8790 坂下）下さい
③ 申込みいただかなくても当日集合場所にお越しいただいても結構です